

年齢・学年 (年齢スケール)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小1・小2	小3・小4	小5・小6・中1	中2・中3	
発達段階の特徴 発達課題	○視覚、聴力などの感覚の発達が進み、自分を取り巻く世界を認知し始める ○あやしてもらって喜んだり大人の真似をしたりなど、やり取りが盛んになる一方で人見知りをするようになる	○盛んに模倣し、物事間の共通性を見出すことができるようになり、大人と一緒に簡単なごっこ遊びを楽しむようになる ○行動範囲が広がり、探索活動が盛んになる	○自我の育ちの表れとして、思い通りにいかないといった癪癪を起したり反抗したりして、自己主張する	○仲間といふことの喜びや楽しさが互いに感じ取れるようになり、仲間とのつながりは強まるが、競争心が芽生え、けんかも見られる	○他人に役立つことを嬉しく感じ、仲間の中の一員としての自覚が生まれる ○納得できないことに対して反発したり、言葉をつかって調整したりする力が芽生える	○仲間の意思を大切に、役割の分担が生まれるようになり、共同遊びや「ごっこ遊び」を行い、満足するまで取り組もうとする ○全身運動が滑らかで巧みになり、快活に活動するようになる	○善悪についての理解・判断や行動のコントロールができるようになる ○親から離れ、外の世界に関心がもてるようになる ○自他の分離が未成熟で、身近な親や友達の考えや好みを自分のものと「同一化」する	○計画的に物事を考えることができるようになる ○価値観やルールを仲間と共有し守るようになる一方、集団を形成してリーダーをまねる(ギャングエイジ) ○認知力や身体能力の個人差が顕著となる(9歳・10歳の壁)	○体力や運動能力が向上する ○集団行動に自分から関わったり、自分たちでルールを決めたり守るようになる ○「思春期」を迎え、不安や悩みを抱えやすくなる ○「心理的離乳期」として、周囲の大人への批判能力が高まり、反抗が増える	○抽象的な思考ができるようになる ○親離れをし、自我を確立するようになる ○自意識の高まりとともに、自分が社会に役立ちたいという欲求が高まる	
観点・領域											
せい かつ	生活リズム・ 早ね早おき朝ごはん	★愛情豊かな受容のもとで、生理的、心理的欲求を満たし心地よく生活できるようにする ★様々な食品に慣れるようにするとともに、和やかな雰囲気の中で食べる喜びや楽しさを味わえるようにする	★基本的な生活習慣については、一人一人の子どもの発達に応じて十分に落ち着いた雰囲気の中で行うことができるようにする ★楽しい雰囲気の中、食べることを楽しむ経験を重ねられるようにする	★基本的な生活習慣に気付き、自分で試してみようとする気持ちや育てる ○様々な食品や調理形態に慣れ、ゆったりした雰囲気の中で食事や間食を楽しむ ○十分な睡眠をとる	○身の回りのことを自分でしようとする ○「食器に手を添える」「こぼさず食べる等」食事のマナーを身につける ○十分な睡眠をとる(目安:10時間)	○基本的な生活習慣を身につけ、自分のことは自分でできる ○食の大切さに気づき、苦手なものも自分から食べようとする ○十分な睡眠をとる(目安:10時間)	○早寝早起きをし、朝食をとる ○楽しく和やかに食事をする ○よく噛んで食べる ○十分な睡眠をとる(目安:10時間)	○早寝早起きをし、朝食をとる ○自分で毎日の生活リズムを整える ○楽しく和やかに食事をする ○十分な睡眠をとる(目安:9時間)	○早寝早起きをし、朝食をとる ○自分で毎日の生活リズムを整える ○楽しく和やかに食事をする ○十分な睡眠をとる(目安:8時間)	○早寝早起きをし、3食きちんとする ○毎日規則正しい生活をする ○楽しく和やかに食事をする ○健康維持のための睡眠時間を確保する(目安:6~8時間)	
	歯の健康	★食後にお茶を飲んで口の中を清潔にする ★仕上げ磨きをする	○歯ブラシに慣れる ★仕上げ磨きをする	○大人を真似て自分で磨こうとする ★仕上げ磨きをする	○食後に歯磨きを自分でしようとする ★仕上げ磨きをする	○食後の歯磨きの必要性に気づく ★仕上げ磨きをする	○食後の歯磨きの必要性に気づく ★仕上げ磨きをする	○食後歯をみがく ○むし歯になったらすぐに治療する ★仕上げ磨きをする	○咀嚼と体の動きや健康とのかかわりの理解する ○むし歯の原因とその予防方法の理解し、実践する ○むし歯になったらすぐに治療する	○身の回りのものを使いやすいように整理整頓をする ○公共の場所で目に付いたゴミを拾うことの意義に気づく	
	整理整頓 ・掃除	★清潔で安全な環境を整える	★保健衛生を心がけ、健康的に過ごせるようにする	★清潔に保つ心地よさを感じることができ、その習慣が少しずつ身に付くようになる	○大人と一緒に片づけようとする	○使ったものを元の場所に片づけようとする	○自分たちで生活の場を整えようとする	○脱いだ靴をそろえる ○用具(ほうき、ちりとり、雑巾等)を正しく使って掃除をする	○脱いだ靴をそろえる ○進んで掃除をし、自分の担当する場所がきれいになったことを喜ぶ	○身の回りのものを使いやすいように整理整頓をする ○公共の場所で目に付いたゴミを拾うことの意義に気づく	
	時間を守る	★一人一人の生活リズムを把握し、一人一人に応じた関わりをすることで情緒の安定を図る	★子どもの心身両面の安定感をもたらすことにより、安定した生活リズムの形成を図る	○生活リズムが形成される	○健康な生活リズムを身につける	○時計の目印をめどに生活を送ろうとする	○時間の流れを意識して生活を送る	○通学班の集合時刻を守る ○授業が始まるまでに席につく	○通学班の集合時刻を守る ○授業が始まるまでに席につく ○ゲームやテレビの時間を守る	○登校時刻や授業や活動の始まる時刻について見通しをもって、5分前行動する ○自分で時間を決めて行動する	
	興味と意欲	★見る、聞く、触れる、なめる、引っ張るなどの探索活動が豊かになるよう、環境を整える ★興味・関心にそった絵本を準備する	★安全で活動しやすい環境を整え、子どもに思いを受け止める ★興味のある絵本を繰り返し読み聞かせる	○行動範囲が拡大し、活発な探索活動が増える ○絵本に親しみ、簡単な言葉の繰り返しを楽しむ	○好奇心をもって周囲の環境に関わる ○絵本や紙芝居を喜んで見たり、聞いたりして話を楽しむ	○周囲の環境に好奇心や探求心をもって関わる ○絵本や紙芝居の話を続きを楽しみにしながら、見たり聞いたりする	○様々な環境に親しみ、直接体験することで感覚の動きを豊かにする ○絵本や紙芝居の話を続きを楽しみにしながら、見たり聞いたりする	○学校生活や日常生活において興味あるものを自分で見つける ○好きな本を読む	○生活の中で興味・関心のあるものを見つけ、取り組む ○いろいろな本に興味を持って読む	○自分の興味・関心について主題を整理し、粘り強く取り組む ○興味がある本を探して読む	○自ら目標を定め、興味あるものに対して探求心をもって取り組む ○いろいろな分野の本を自分で選んで読む
あそび ・まなび	見通しをもつ	★安心できる保育者のかかわりの中で共に過ごす喜びが感じられるようにする	○保育者と一緒に簡単なごっこあそびを楽しむ	○保育者と一緒に生活を取り入れたごっこ遊びを楽しむ	○保育者や友達と一緒にごっこ遊びを楽しむ	○友達と遊びのイメージを共有し役割分担をしたり、必要な物を作ったりして遊ぶ	○保護者と一緒に次の日の準備をする ○将来なりたいものを見つける	○自分で次の日の準備をする ○将来どんな生活をしたか具体的に未来の自分について考える	○不足を自分で補いながら準備をする ○希望をもって将来就きたい職業や進路を具体的に決める	○異例の事態を予測して準備する ○中学卒業後の自分を生かせる進路を具体的に決める	
	よく聞く・ 伝える	★体の動きや表情、発声、喃語等を優しく受け止め、やりとりする心地よさを感じられるようにする	★繰り返しの質問を丁寧に受け止め、言語を補いながら返したり、励ましたりすることで、自分の感情をコントロールすることへの気付きにつながる	○身近な話を聞き、自分の思ったことを伝えようとする	○生活の中で必要な言葉が分かる	○保育者や友達との会話を楽しむ	○経験したことや考えたことを相手に分かるように伝える	○話し手の方を向き、うなずく ○自分の考えと相手の考えが違うことに気づく	○相手の意見と自分の考えと比べ、意見の違いを受け入れることができる	○相手の意見や自分の意見に取入れ、自分の意見も伝えようとする	
	気付きと 自主・自律	★子どもの興味や関心を踏まえ、遊びを通して感覚の発達が促されるものとなるように工夫する	★自己主張を受け止め、その上で相手の思いを伝え、仲立ちをする	★子どもの自我の育ちを見守りつつ、友達の気持ちや関わり方に気づいていくよう援助する	○自分の思いと友達の思いは違うことを保育者の関わりを通して気づく	○自己主張をし、友達に受け入れられ拒否されたりする体験を積み重ねる	○友達と思いのぶつかり合いを通して、他者の思いに気づき、規範意識が芽生える	○相手の気持ちを考えて友達と仲良く過ごす ○他者の思いに気づき、自分はどうすればよいかを考えられる	○相手を思いやった正しい行動がとれているか振り返る	○善悪を考えて、自分から進んで行動する	○自分の行為が及ぼす結果についても深く考え、責任ある行動がとれる
	粘り強く やり遂げる	★信頼できる保育者の温かく、受容的な関わりを通じて、自分を肯定する気持ちの芽生えを図る	★子どもの感情に対し、受動的に受け止め、子どもの姿を認め、励ましたりすることで、自分の感情をコントロールすることへの気付きにつながる	○自分で考えて、自分でしようとする意欲や諦めずやり遂げようとする気持ちが芽生える	○保育者に支えてもらいながら、物事を最後まで行おうとする	○やり遂げたいという思いをもって楽しんで取り組む	○友達と一緒に物事をやり遂げたいという気持ちをもって取り組む	○任されたことをやり遂げる	○自分がしなければならないことと自分で気付き、やり遂げる	○やろうと決めたことを最後までやり遂げる	○責任を持って物事に取り組み、最後までやり遂げる
	あいさつ・ 返事	★喃語や指差し、身振りなどを受け止め、発語意欲を高める	★毎日の生活の中で、安心してあいさつを交わしたくなるような雰囲気づくりを行う	○親しみをもって日常的にあいさつに応じる	○日常生活の中で必要なあいさつを知り使おうとする	○日常生活の中であいさつを交わすことにより親しさを感じる	○元氣よくあいさつや返事をする	○自分から進んで、あいさつや返事をする	○自分から進んで、気持ち良いあいさつや返事をする	○気持ち良いあいさつや返事をする心地よさと大切さがわかる	○時と場に応じた姿勢や態度で気持ち良いあいさつや返事をする
つな がり	言葉づかい	★ゆったりと子どもの声や行為に言葉を添える	★丁寧な言葉で声かけをする	★子どもの話を優しく受け止め丁寧な言葉で答える	○大人を手本として正しい言葉のつかい方を知っていく	○「～です」「～ます」をつかえる ○相手の顔を見て、言葉を添えて物の受け渡しができる	○「～です」「～ます」をつかえる ○相手の気持ちを考えて発言する ○相手の顔を見て、言葉を添えて物の受け渡しができる	○敬語がつかえる ○SNSで相手を傷つける書き込みをしない ○相手の顔を見て、丁寧に言葉を添えて物の受け渡しができる	○時と場に応じた丁寧な言葉や敬語をつかえる ○SNSで相手を傷つける書き込みをしない ○相手の顔を見て、丁寧に言葉を添えて物の受け渡しができる	○時と場に応じた丁寧な言葉や敬語をつかえる ○SNSで相手を傷つける書き込みをしない ○相手の顔を見て、丁寧に言葉を添えて物の受け渡しができる	
	感謝と反省	★おむつ交換や衣服の着脱などを丁寧にし、してもらって嬉しい経験を積み重ねていく	★子どもが受け入れられていると感じられるよう、愛情豊かに受容を行う	○保育者が思いやりのある行動をするモデルとなったり、他者の思いに気づけるような関わりをしたりする	○保育者の関わりにより、相手の思いに気づく	○気の合う友達と遊ぶことを通じて相手の思いに気づく	○保育者に支えてもらいながら、相手の気持ちを考えたり、自分の振る舞いを振り返ったりする	○「ありがとう」「ごめんね」と素直に言える	○感謝や反省の気持ちが相手に伝わるように言える	○相手の気持ちや場に応じた言葉で感謝や反省を伝える	
	きまりと約束を守る	★個々の生理的リズムを尊重し、情緒の安定を図り、生活リズムを形成していく	★一人一人の思いをうけとめながら関わり、生活や遊びの経験を積み重ねる中で、きまりがあることを知らせる	○保育者にありのままを受け止められないながらも、きまりがあることに気づく	○きまりを守って遊ぶことの楽しさに気づく	○きまりの大切さに気づき守ろうとする	○生活の中でよいこと、悪いことに気づき、考えながら行動する	○「うそをつかない」「ものを盗らない」「人に手を出さない」「いじめをしない」が守られる ○自他の違いに気づき相手を尊重するよう努める	○身のまわりのきまりの意義を理解し守る ○自他の権利を大切に	○きまりや法の意義を理解し守る ○自他の権利を重んじ義務を確実に果たす	

★は保育者・保護者が行う項目です。 ※「接続ゾーン」とは進学等に伴い学校間連携がより求められる時期です。